



ルート グループの設定

ルート グループの設定では、ゲートウェイおよびトランクが選択される順序を指定します。ルート グループにより、発信トランク選択用のゲートウェイとポートのリストに優先順位を付けることができます。

たとえば、2つの長距離通信事業者を使用している場合、通話料の安い通信事業者の長距離コールを優先させるように、ルート グループを追加できます。最初のトランクが使用不能の場合に限り、コールは、通話料の高い通信事業者の方にルート指定されます。

ルート グループの追加または削除、ルート グループへのデバイスの追加、ルート グループからのデバイスの削除については、次のトピックを参照してください。

- [ルート グループの検索 \(P.33-2\)](#)
- [ルート グループの設定 \(P.33-4\)](#)
- [ルート グループの設定値 \(P.33-5\)](#)
- [ルート グループへのデバイスの追加 \(P.33-7\)](#)
- [ルート グループからのデバイスの削除 \(P.33-8\)](#)
- [ルート グループの削除 \(P.33-9\)](#)

ルートグループの検索

ネットワーク内にはいくつかのルートグループが存在することがあるので、Cisco CallManager では、固有の基準を指定して、特定のルートグループを見つけることができます。ルートグループを見つける手順は、次のとおりです。



(注) Cisco CallManager Administration では、ブラウザセッションでの作業中は、ルートグループの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ルートグループの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 Call Routing > Route/Hunt > Route Group の順に選択します。

Find and List Route Groups ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 ドロップダウン リストボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- begins with (前方一致)
- contains (中間一致)
- ends with (後方一致)
- is exactly (完全一致)
- is empty (空白)
- is not empty (非空白)

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



(注) データベースに登録されているルートグループをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

検出されたルートグループのリストが、ルートグループ別に表示されます。



ヒント 検索結果内でルートグループを検索するには、**Search Within Results** チェックボックスをオンにし、この手順の説明に従って検索条件を入力します。



(注) 該当するルートグループの横にあるチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックすると、Find and List Route Groups ウィンドウから複数のルートグループを削除できます。**Select All** をクリックして **Delete Selected** をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのルートグループを削除できます。

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致するルートグループをクリックします。

選択したルートグループがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.33-10 の「[関連項目](#)」を参照してください。

ルートグループの設定

ルートグループを設定する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Call Routing > Route/Hunt > Route Group の順に選択します。

ステップ 2 次の作業のいずれかを実行します。

- 既存のルートグループをコピーするには、対象となるルートグループを見つけて (P.33-2 の「ルートグループの検索」を参照)、コピーするルートグループの横にある **Copy** ボタンをクリックし、**ステップ 3** に進みます。
- 新しいルートグループを追加するには、**Add New** ボタンをクリックし、**ステップ 3** に進みます。
- 既存のルートグループを更新するには、対象となるルートグループを見つけて (P.33-2 の「ルートグループの検索」を参照)、**ステップ 3** に進みます。

ステップ 3 表示される Route Group Configuration ウィンドウで、Route Group Name フィールドに名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各ルートグループ名が、そのルートプランに固有の名前であることを確認してください。



ワンポイント・アドバイス

ルートグループには、内容を簡潔に表す名前を使用してください。通常、CompanynameLocationGroup の形式が、内容を簡潔に表し、ルートグループをすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、CiscoDallasAA1 は、Dallas の Cisco オフィス用の Cisco Access Analog ルートグループを特定します。

ステップ 4 適切な設定値を選択します (表 33-1 を参照)。



(注) 新しいルートグループを追加する前に、新しいルートグループに対して少なくとも 1 つのデバイスを選択しておく必要があります。

ステップ 5 Save をクリックして、このルートグループを追加または更新します。

追加情報

P.33-10 の「関連項目」を参照してください。

ルートグループの設定値

表 33-1 では、ルートグループの設定値について説明します。

表 33-1 ルートグループの設定値

フィールド	説明
ルートグループ情報	
Route Group Name	このルートグループの名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各ルートグループ名が、そのルートプランに固有の名前であることを確認してください。
Distribution Algorithm	ドロップダウンリストボックスで、次の分散アルゴリズムのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Top Down : この分散アルゴリズムを選択すると、ルートグループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco CallManager がメンバーに対してコールを分散します。 • Circular : この分散アルゴリズムを選択すると、Cisco CallManager は、アイドルまたは対応可能状態のメンバーに対するコールの分散を、ルートグループの (n+1) 番目のメンバーから開始します。n 番目のメンバーは、Cisco CallManager が最後にコールを延長したメンバーです。n 番目のメンバーが、ルートグループの最後のメンバーの場合、Cisco CallManager はルートグループの先頭からコールの分散を開始します。 デフォルト値は、Circular です。
ルートグループメンバー情報	
デバイスを検索してルートグループへ追加	
Device Name contains	検索するデバイス名に含まれる文字を入力し、 Find ボタンをクリックします。入力した文字と一致するデバイス名が Available Devices ボックスに表示されます。 <div style="text-align: right;">  </div> <p>(注) 使用可能なデバイスをすべて検索するには、テキストボックスをブランクのままにして、Find ボタンをクリックします。</p>
Available Devices (select device, then select port below)	Available Devices リストボックスでデバイスを選択し、 Add to Route Group をクリックして、そのデバイスを Selected Devices リストボックスに追加します。 <p>QSIG プロトコルを使用するゲートウェイがルートグループに含まれている場合は、QSIG プロトコルを使用するゲートウェイのみがリストに表示されます。非 QSIG プロトコルを使用するゲートウェイがルートグループに含まれている場合は、QSIG プロトコルを使用し、制御クラスタ間トランクを使用するゲートウェイはリストに表示されません。</p> <p>QSIG ゲートウェイを含むルートリストにルートグループを追加した場合、H.323 ゲートウェイはリストには表示されません。</p>

表 33-1 ルートグループの設定値 (続き)

フィールド	説明
Port(s)	このデバイスが個々に設定可能なポートをサポートしている場合、そのポートを選択します (個々のポートの選択が可能なデバイスとして、Cisco Access Analog ゲートウェイ、Cisco MGCP Analog ゲートウェイ、T1 CAS があります)。サポートしていない場合は、デフォルト値 (選択したデバイスによって、All または None Available) を選択します。使用可能なポートがないデバイスの場合 (None Available)、そのデバイスはすでにルートグループに追加されているか、またはルートグループに追加できない可能性があります。
現在のルートグループメンバー	
Selected Partitions (ordered by highest priority)	<p>デバイスの優先順位を変更するには、Selected Devices リストボックス内のデバイス名を選択します。そのリストボックスの右側にある矢印をクリックして、リスト内でそのデバイスを上下に移動させてください。</p> <p>Selected Devices リストボックス内のデバイスの優先順位を逆転するには、Reverse Order of Selected Devices をクリックします。</p> <p>ルートグループ内のデバイスの順序の詳細については、『Cisco CallManager システムガイド』の「ルートプランの概説」を参照してください。</p>
Removed Devices (to be removed from Route Group when you click Update)	<p>Selected Devices リストボックスでデバイスを選択し、そのデバイスを Removed Devices リストボックスに追加します。これには、この 2 つのリストボックス間にある下矢印ボタンをクリックします。</p> <p> (注) ルートグループには、少なくとも 1 つのデバイスを入れる必要があります。</p>

追加情報

P.33-10 の「関連項目」を参照してください。

ルートグループへのデバイスの追加

新規のルートグループまたは既存のルートグループに、デバイスを追加することができます。複数のルートグループにゲートウェイを追加できます。ルートグループにゲートウェイを追加すると、そのゲートウェイは Route Pattern Configuration ウィンドウに表示されません。既存のルートグループにデバイスを追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

この手順を実行する場合は、事前に少なくとも1つのゲートウェイおよびトランクのデバイスを指定しておく必要があります。デバイスが常駐できるのは1つのルートグループ内のみです。

手順

-
- ステップ 1** Call Routing > Route/Hunt > Route Group の順に選択します。
 - ステップ 2** デバイスを追加する先のルートグループを特定します。P.33-2の「ルートグループの検索」を参照してください。
 - ステップ 3** Available Devices リストボックスで追加するデバイスを選択し、**Add to Route Group** をクリックして、デバイスを Selected Devices リストボックスへ移動します。このルートグループへ追加する各デバイスに対して、この手順を繰り返します。
 - ステップ 4** Selected Devices リストボックスで、新しいデバイスがこのルートグループ内でアクセスされる順序を選択します。順序を変更するには、デバイスをクリックしてから、リストボックスの右側にある上矢印または下矢印を使用して、デバイスを移動します。
 - ステップ 5** **Save** をクリックして、新しいデバイスを追加し、このルートグループのデバイス順序を更新します。
-

追加情報

P.33-10の「関連項目」を参照してください。

ルートグループからのデバイスの削除

新規のルートグループまたは既存のルートグループから、デバイスを削除することができます。既存のルートグループからデバイスを削除する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** Call Routing > Route/Hunt > Route Group の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するデバイスが入っているルートグループを特定します。P.33-2 の「ルートグループの検索」を参照してください。
- ステップ 3** Selected Devices リストボックスで削除するデバイスを選択し、Selected Devices リストボックスの下にある下矢印をクリックして、デバイスを Removed Devices リストボックスへ移動します。このルートグループから削除する各デバイスに対して、このステップを繰り返します。



(注) ルートグループには、少なくとも 1 つのデバイスを入れる必要があります。

- ステップ 4** デバイスを削除するには、**Save** をクリックします。
-

追加情報

P.33-10 の「関連項目」を参照してください。

ルートグループの削除

ルートグループを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

ルート/ハントリストが参照するルートグループは削除できません。ルートグループを使用してあるルートリストを検索するには、Route Group Configuration ウィンドウの Related Links ドロップダウンリストボックスにある **Dependency Records** を選択し、**Go** をクリックします。Dependency Records がシステムで使用可能でない場合、Dependency Records Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、P.A-4 の「[Dependency Records へのアクセス](#)」を参照してください。使用されているルートグループを削除しようとすると、Cisco CallManager はエラーメッセージを表示します。現在使用中のルートグループを削除する場合は、事前に、次の作業を実行しておく必要があります。

- ルートグループを削除する前に、そのルートグループが属しているすべてのルートリストから、そのルートグループを削除する。P.34-8 の「[ルートリストからのルートグループの削除](#)」を参照してください。



ヒント

ルートグループとルートパターンを削除するには、まずルートパターンを削除し、次にルートリストを削除して、最後にルートグループを削除します。

手順

- ステップ 1** Call Routing > Route/Hunt > Route Group の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するルートグループを特定します。P.33-2 の「[ルートグループの検索](#)」を参照してください。
- ステップ 3** 削除するルートグループの横にあるチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックします。

ルートグループを削除すると取り消せないことを警告するダイアログボックスが表示されます。

- ステップ 4** ルートグループを削除するには、**OK** をクリックします。削除操作を取り消すには、**Cancel** をクリックします。**OK** をクリックした場合は、Cisco CallManager は、そのルートグループをルートグループリストから削除します。



(注) 該当するルートグループの横にあるチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックすると、Find and List Route Groups ウィンドウから複数のルートグループを削除できます。**Select All** をクリックして **Delete Selected** をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのルートグループを削除できます。

追加情報

P.33-10 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

ルート グループ

- [ルート グループの検索 \(P.33-2\)](#)
- [ルート グループの設定 \(P.33-4\)](#)
- [ルート グループの設定値 \(P.33-5\)](#)
- [ルート グループへのデバイスの追加 \(P.33-7\)](#)
- [ルート グループからのデバイスの削除 \(P.33-8\)](#)
- [ルート グループの削除 \(P.33-9\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「ルート プランの概要」

ルート リスト

- [ルート リストの追加 \(P.34-4\)](#)
- [ルート リストへのルート グループの追加 \(P.34-6\)](#)